

●大会運営に関する取り決め事項（軟式野球）

<開催要項>

1. 競技規則

本大会は、当年4月1日公認野球規則、競技者必携規則により実施される。ただし、本大会特別規定を別に定める。また、競技規則（特別規定を含む）に違反したチームは失格とする。

2. 競技方法

トーナメント戦方式

3. チームの構成

(1) 1チームは、引率責任者・監督・コーチ・マネージャー各1名、選手18名以内とする。

(2) 出場選手は、必ず引率責任者（当該校教諭）によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負うものとする。また、ユニフォーム等は、統一のものとする。

4. 大会使用球と用具・装備

(1) 使用球

大会使用球は、連盟新公認（ガセコ）の軟式ボールM号球とし大会本部で準備する。

(2) 使用バット

①金属・ハイコンバット（複合）は、JSBBのマークをつけた公認のものに限る。

②雷発生の危険に備えて、木製のバットも持参すること。

③マスコットバット・素振り用パイプ・リングを球場内に持ち込まないこと。

(3) ヘルメット・レガーズ

打者・次打者・走者及びコーチは、安全マーク（SG）のついた連盟公認（JSBB）の軟式野球用ヘルメット（両耳）を着用すること。捕手は、マスク・キャッチャーヘルメット・レガーズ・プロテクター・ファウルカップを着用すること。

5. 組合せ

大会本部にて抽選で行う。その結果を大会前日までに代表者に通知する。

<大会特別規定>

1. 競技上の運営規定

(1) 打順表と攻守の決定

第1試合は開始50分前、第2試合以降は前試合の2回終了時に、打順表4通（選手名のフリガナ、控え選手も含む）を主将が本部に提出して、照合を受けた後攻守を決定する。

※コールドゲーム等で前試合が早く終了する場合がありますので注意すること。

①基本的に参加申込書類提出後は、選手の変更・追加及び背番号の変更は認めないが、万一の場合は、大会本部に申し出ること。（代表者会議までは認めるものとし、変更の用紙を持参すること）

②試合時間に遅れるか、人数が揃わないか、その他試合時間になっても試合のできる状態のとれないチームは、原則として棄権とみなす。又、ベンチは、抽選番号の若いチームを一塁とする。

(2) 雨天（天災等）による試合継続の判断及び方法については、大会本部で特別に定めるものとする。

2. 審判上の注意事項

(1) 試合回数と延長等

①試合回数は7回とし、7回に満たなくても制限時間を越えた場合には、次の回には入らない。

※制限時間・・・1時間40分とする。

②試合の成立は、決勝戦は4回、決勝戦以外は3回とする。雨天等によりコールドゲームとなった場合、再試合ではなく試合の継続として再開する。尚、日時については大会本部が決定する。

③得点差によるコールドゲームは、4回以降10点差とする。

④7回又は制限時間を経過して、同点の場合は延長戦とする。但し、延長においては、特別ルールを適用し勝敗を決定する。また、状況（グラウンド状況悪化他）によりくじ引きとする。

※延長戦特別ルール・・・1死満塁からの攻撃とする。（継続打者の前打者から順に1塁・2塁・3塁走者として試合を開始する）

3. その他の注意事項

(1) 連絡事項

競技中の疾病・傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の処置については責任を負わない。なお、参加者は健康保険証を持参する事。

※ 複数の選手が使用するであろう道具類等に関しては、各校にて除菌等のご対応をお願い致します。

●大会運営に関する取り決め事項（バレーボール）

<開催要項>

1. 競技規則

本大会は、令和5年度（財）日本バレーボール協会6人制により実施する。但し、本大会は特別規定を別に定める。また、競技規則（特別規定を含む）に違反したチームは失格とする場合がある。

2. 競技方法

1試合3セットマッチとし上位3位を決定する。競技方法は参加チーム数により決定する。なお、リーグ戦での順位決定は勝率、得失セット率、ポイント率によって順位を決定する。ポイント率も同率の場合は、本部での抽選により順位を確定する。

3. チーム構成

- (1) 1チームは、引率責任者・監督・コーチ・マネージャー各1名、選手6名～12名とする。
- (2) 出場選手は、必ず引率責任者（当該校教員）によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負うものとする。

4. 大会使用球と用具・装備

- (1) 使用球は、公認5号ボールとし、主催者側が用意する。
- (2) 選手のユニフォームは、規定の胸番号・背番号をつけたものとする。監督・コーチ・マネージャー・キャプテンはそれぞれに規定されたマークをつけること。また、アクセサリなど、怪我の恐れのある物の着用は危険なため認めない。

5. 組合せは大会本部にて抽選で行う。その結果を大会前日までに代表者に通知する。

<大会特別規定>

1. 競技上の注意事項

- (1) 競技開始時刻は設定するが、第2試合以降は、試合の準備ができれば直ちにプロトコールに入る。（設定時刻は試合時刻であり、11分前にプロトコールに入る。）なお、試合開始時刻のホイッスルにチームが揃わず試合ができない場合は棄権とみなす。
- (2) 選手登録用紙に記載された選手・コーチ・マネージャー及び選手の変更は、代表者会議までに申請すること。なお、エントリー用紙は変更がある場合のみ、試合20分前までに本部に提出する。ラインアップチケットはセット毎に記録に提出する。
- (3) 審判団（主審・副審・線審・記録員等）は原則として大会本部で確保する。
- (4) ネットの高さは、男子2m40cm、女子2m20cmとする。

2. 審判上の注意事項

- (1) キャプテン・トスは試合開始時刻11分前に各コート記録席前で行う。代理は認めない。
- (2) 公式練習はサーブ権を得たチームから3分ずつ行う。両チーム合意の場合は合同で6分間とすることを認める。
- (3) ウォーミングアップについては、アップゾーンで行い、ボールの使用を認めない。
- (4) ワイピングについては、コート内の競技者がタオルで速やかに行うこと。タイムアウト及びセット間には、ベンチの者がモップで拭いてもよい。
- (5) 全試合2ボールで行う。デッド後のコート内のボールは速やかに転がしサービングチームに渡すこと。
- (6) スコアリング・システムは、ラリーポイント制で25点を先取したチームが勝者となる。但し、24対24の場合は、2点リードするまで続行される。第3セットの場合は、13点でチェンジコートをする。

3. その他の連絡事項

- (1) 表彰は、原則として1位と2位のみとするが、参加チーム数により大会本部が決定する。
- (2) 競技中の疾病・傷害などの応急措置は、主催者側で行うが、その後の処置については責任を負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 参加選手は、必ず健康診断を受けて参加すること。
- (4) 競技に関する細部については、代表者にメールにて通知する。不明点は早めに本部へ連絡する。
- (5) 開会式には、監督・選手は必ず出席すること。（ユニフォーム又は学校指定の体操着を着用すること）
- (6) 重複エントリー選手がいる場合は必ず重複エントリーシートを提出すること。
- (7) 重複エントリー選手の試合時間が重なった場合はどちらか一方の出場とする。
- (8) 開催会場が異なる為、他競技との重複登録は難しい。

●大会運営に関する取り決め事項（バスケットボール）

<開催要項>

1. 競技規則

日本バスケットボール協会現行バスケットボール競技規則による。本大会特別規定を別に定める。

また、競技規則（別規定を含む）に違反したチームは失格とする場合がある。

ルールの詳細な点については、《日本バスケットボール協会 JBA 公式サイト》を参照。

2. 競技方法

男子トーナメント、女子トーナメント戦を行う。参加校数に応じてリーグ戦等への変更の可能性もある。

3. チームの構成

(1) 1チームは引率責任者・監督・コーチ・マネージャー各1名、選手12名以内とする。但し、引率責任者の服装は原則として平服とする。

(2) 出場選手は、必ず引率責任者（当該校教員）によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負うものとする。

4. 大会使用球

男子は国際公認球7号、女子は同6号を使用する。主催者側で用意をする。

5. 組み合わせ

別紙の通り。

6. 連絡事項

(1) 競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側が行うが、その後の処置については責任を負わない。
なお、参加者は必ず健康保険証を持参すること。

(2) 参加選手は必ず事前に健康診断を受け、また大会期間中のあらゆる感染対策等に協力すること。

(3) 全員統一され、学校名の表示されたユニフォームを着用し、胸番号・背番号は規定されたものを付けることが望ましい。

(4) 競技に関する細部については、代表者会議で確認する。

(5) 開会式には、監督・選手は必ず出席すること。（ユニフォームまたは学校指定の服装）

(6) 装飾品（ピアス、ネックレス、ブレスレット 等）の着用は一切禁止とする。

(7) 優勝、準優勝2チームの表彰を行う。3位決定戦は行わない予定。

※ ゲーム中の事故、怪我、持病を持っている生徒の発病等に備え、引率責任者は必ず保護者といつでも連絡がとれるよう準備をしておかなければならない。

※ アイシング等の氷については各校で準備をすること。

<大会特別規定>

(1) ユニフォームは濃色、淡色の両方を用意し、淡色については白が望ましい。

(2) ユニフォームは各色において全員統一されていること。

(3) ユニフォームは組み合わせ番号の若い方のチームが淡色を着用する。

(4) 胸番号、背番号は規定の位置に着け、大きさも規定のものを着けること。

(5) 番号は濃色、淡色において同一の選手が同一の番号を着けること。

(6) 試合ベンチは、組み合わせ番号の若い方のチームが、テーブルオフィシャルズに向かって右側を使用。

(7) 試合ベンチには登録されたもの以外は着席できない。

(8) 競技時間は、予選は8分4クォーター制とする。

第1クォーターと第2、第3と第4の間にそれぞれ2分のインターヴァルをおく。

第2と第3の間はハーフタイムとして10分間設ける。延長戦は1回3分とする。

(10) メンバー表は、前の試合のハーフタイムまでに競技本部席に提出する。（第1試合は開始40分前まで）

(11) メンバーの登録の変更、削除はゲーム前のメンバー表提出をもって変更手続きとする。

(12) 原則として、テーブルオフィシャルズ及びフロアモップは各校が持ち回りで行う。

(13) 試合使用後の各ベンチは消毒と整理整頓を行う。ゴミ等は各校で処分する。

※ 合同チームの出場や「女子選手の男子チーム出場」に関して希望がありましたらご相談ください。

●大会運営に関する取り決め事項（卓球）

〈開催要項〉

1. 競技規則

本大会は本年4月1日現在、公益財団法人日本卓球協会ルール及び同細則に準拠し、一部特別ルールを適用する。

2. 競技方法

(1) 競技種類 男女の個人戦及び団体戦のみとする。

(2) 競技方法及び組み合わせ

個人戦、団体戦とも、参加人数、参加チーム数に応じて、本部にて定めるものとする。

1日目は個人戦、2日目は団体戦を原則とする。

3. チーム構成

(1) 個人戦の登録

個人戦の名簿の提出は、学年を問わず必ず実力順に記載する。

(2) 団体戦の登録

団体戦の登録選手は、男子4名以上、女子3名以上、最大6名以内とする。

4. 大会使用球及び用具・服装等

(1) 大会使用球は、日本卓球協会公認プラスチック40mm白ボールとする。

(2) 試合中の服装は、半袖シャツ、短パンを原則とする。白色のユニフォームは原則禁止とする。

(3) 試合場内で靴を履いていない者は棄権とする。

(4) ゼッケンは必ず着けてからコートに入る。

(5) ラケット及びびらバーについては、4月1日現在の日本卓球ルールに準拠する。

(6) ゼッケンのサイズは縦18cm横25cmを基準とする。選手氏名、県名、学校名を明記すること。

※日本卓球協会配布のゼッケンでもよい

〈大会特別規定〉

1. 競技上の注意事項

(1) 試合中のタイムアウトについては、本大会では適用しない。

(2) 個人戦及び団体戦のアドバイスについては、ゲームとゲームの間の1分間のみとする。

(3) 故意に大きな音をたてる行為は禁止とする。

(4) 故意による遅延行為は禁止とする。

2. 審判に関する事項

(1) 個人戦…第1試合のみ本部で審判の依頼を行い、その後は、敗者が次の審判を行う。

(2) 団体戦…対戦校同士でお互いに審判を出すこと。(勝者チームが試合結果を報告するものとする。)

(3) 1ゲーム

① 1ゲームは11ポイントを先取した競技者または組の勝ちとする。

② サービスは2ポイント毎交代。10-10となった場合、その後2ポイント差とした競技者が勝ちとなる。

③ 10-10となった場合は、以後のサービスは1ポイント毎の交代となる。

④ 最終ゲームでは、5ポイント先取した場合、エンド交代する。ダブルスは、ここでレシーバーも交代する。

⑤ ゲームとゲームの間の休憩は1分以内とする。

(4) 1マッチ

1マッチは3ゲームとし、2ゲーム先取した競技者の勝ちとなる。促進ルールは適用しない。

(5) 団体戦の試合方法は次のとおりとする。

【男子】4名以上による4シングル、1ダブルスで試合を行う。

順序	1	2	3	4	5
	S	S	W	S	S

※但し、1・2番でシングルに出場した選手でダブルスを組むことはできない。

※団体戦では、1試合につき1名の者が2回以上シングルに出ることはできない。

【女子】3名以上による5シングルで試合を行う。

順序	1	2	3	4	5
番号の若いチーム	A	B	C	A	B
番号の後のチーム	X	Y	Z	Y	X

※同じ選手が2度対戦しないように注意する。4・5番については登録してある別の選手でも良い。

注 意 事 項

今年度の陸上競技は「1日開催（10：00-14：00）」となりました。
以下のタイムテーブルは2022年度のものを掲載しました。また、出場人数が確定していないため、決定ではありません。
他競技との重複出場が認められているため、シュミレーションする際の参考にしてください。

● 陸上競技

会場：富士北麓公園陸上競技場

7月25日（火）

【トラックの部】

No	種 目	組	コール時間	競技開始時刻	備 考
1	400m	予選2-2+4	9：50	10：00	
2	女子 1500m	決勝	10：10	10：20	
3	1500m	決勝	10：20	10：30	
4	女子 100m	予選2-2+4	10：40	10：50	
5	100m	予選5-1+3	10：50	11：00	
6	女子 400m	決勝	11：40	11：50	
7	400m	決勝	11：50	12：00	
8	女子 100m	決勝	12：40	12：50	
9	100m	決勝	12：50	13：00	第2決勝あり
10	女子 800m	決勝	13：10	13：20	
11	800m	タイムレース 決勝2組	13：20	13：30	
12	4×100mR	決勝	13：40	14：00	

【フィールドの部】

No	種 目	組	コール時間	競技開始時刻	備 考
1	砲丸投げ	決勝	10：30	11：00	
2	走り幅跳び	決勝	11：30	12：00	

●大会運営に関する取り決め事項

<開催要項>

1. 競技規則

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則及び本大会競技規則に準拠し、一部特別ルールを適用するものとする。

2. 競技方法

(1) 競技種類

個人戦とする。

(2) 競技種目

男子：100m・400m・800m・1500m・4×100mR・走り幅跳び・砲丸投げ

女子：100m・400m・800m・1500m・4×100mR・走り幅跳び・砲丸投げ

3. チーム構成及び出場制限

(1) 出場選手は、必ず引率責任者（当該校教諭）によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負うものとする。

(2) 参加校は競技役員・補助員（それぞれ1名以上）を派遣し、競技運営に協力するものとする。

(3) 1校1種目の出場人数制限はなし。

(4) 1人3種目以内（ただしリレーは除く）

<大会特別規定>

1. 競技上の運営規定

(1) コール時間は競技日程を参照すること。コール場所は各スタート地点とする。

(2) ナンバーカード・腰ナンバーカードは主催者側で用意する。ナンバーカードは胸背部につける。腰ナンバーカードは右腰のやや後方に付け、競技後に必ず返却すること。

(3) 棄権する場合は、棄権申請用紙（本部）に、理由を明記し捺印またはサインをした上、責任者（監督）が本部へ提出すること。

(4)トラック種目では1組の人数を増やしてレースを行う可能性もある。

(5) 投擲種目「砲丸投げ」の重さは男子4kg・女子2.721kgとする。

2. その他の取り決め事項

(1) 表彰の対象は、1～3位までとする。ただし出場者が3名以下の種目はこの限りではない。

(2) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は、主催者側で行うが、その後の処置については責任を負わない。なお、選手は健康保険証を持参すること。

(3) 選手は、必ず健康診断を受けて出場すること。

(4) その他競技の細部については代表者会議で決定する。

監督・顧問の先生方へ

競技会運営は体育振興委員会、監督顧問の先生、選手及び補助員の生徒で行われます。

ご協力よろしく申し上げます。新規にご出場される学校につきましては詳細をご連絡いたします。

●大会運営に関する取り決め事項（フットサル）

<開催要項>

1. 競技規則

本大会は、当年4月1日現在のフットサル競技規則により実施される。ただし、本大会特別規定および特別ルールを別に定める。また、競技規則（特別規定等を含む）に違反したチームは失格とする場合がある。

2. 競技方法

本大会は総当たりのリーグ戦で行う。ただし、参加校数に応じて変更の可能性もある。

3. チームの構成

- (1) 5人以下の競技者からなる2つのチームによって行われる。そのうち1人はゴールキーパーである。
- (2) 交代および交代要員の数に制限は設けない。
- (3) 試合に参加できるのは、大会前に提出されたメンバー表に登録された競技者のみとする。
- (4) 競技者は、必ず引率責任者（当該校教員）によって引率され、引率責任者および監督はすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (5) 試合開始前までに、いずれかのチームの競技者が3人未満の場合は試合を放棄したものとみなす。

4. 大会使用球と用具

- (1) 試合球は公認4号球とし、主催者側が準備する。
- (2) 両チームは、お互いに、または、審判員と区別できる色の服装を着用する。
- (3) それぞれのゴールキーパーは、他の競技者、審判員と区別できる色の服装を着用する。
- (4) すべての装身具（ネックレス、指輪、ブレスレット、ピアス、皮革やゴムでできたバンド等）を身につけることは禁止とし、外さなければならない。装身具をテープ等で覆い隠すことは認めない。
- (5) 眼鏡を着用する場合は、試合中に接触等で自他ともに怪我をさせないかを事前に確認する。
- (6) 競技者が身につけなければならない基本的な用具
 - ①袖のあるシャツ
 - ②ショーツーゴールキーパーは、トラックスーツのパンツをはくことができる。
 - ③ソックス
 - ④すね当て
 - ⑤靴ー室内のフットサルシューズでも構わないが、会場が屋外の場合はトレーニングシューズが望ましい。ただし、スパイクは禁止とする。
- (7) アンダーシャツおよびアンダーショーツを着用する場合は、主たる色と同じであることが望ましい。
- (8) 競技者と区別するため、交代要員はシャツの上にビブスを着用する。

5. 組み合わせ

大会本部にて抽選を行う。その結果を大会前日までに代表者に通知する。

<大会特別規定>

- (1) 登録メンバーに変更がある場合（背番号等を含む）は、試合開始前までに競技本部に申し出る。
- (2) ユニフォームの色が同系色となった場合は、主審、第2審判の判断により試合を開始する。
- (3) コイントスに勝ったチームが第1ピリオドにどちらのゴールを攻めるのかを決める。トスに負けたチームが試合開始のキックオフを行う。
- (4) タイムアウトの時間は設けない。
- (5) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の処置については責任を負わない。
なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (6) 競技に関する細部については、代表者会議または代表者にメールにて通知する。

● 大会運営に関する取り決め事項（自転車競技）

<開催要項>

1. 競技規則

本大会の競技規則は、下に記載する競技方法等による特別規定により実施する。競技規則に違反したチーム・選手は失格とする。

2. 競技方法

(1) 競技種類 男女の団体戦及び個人戦とする。

(2) 競技方法

陸上競技場のトラック1周（約430m）のタイムトライアルレース。1選手につき2回走り、いずれかのベストタイムを公式記録とする。第1スタート地点と第2スタート地点から各1名ずつ、スターターのピストルの合図で同時に発走し、所要時間を計測する。あらかじめ定めた発送順に全員が走り、1回目の終了後、各選手は反対側のスタート地点に移動し、同じ順番で2回目を走る。

①個人戦

出場者（男女別）全員の優劣により順位を決定し、1位から3位までにはメダル等を授与する。

②団体戦

3名以上出場の学校で、団体戦のエントリーをした学校を対象とする。各学校上位3名の個人記録合計タイムにより順位を決定し、上位チームにはメダル等を授与する。表彰は大会実施規程に基づく。

3. チーム構成

(1) 1チームは、引率責任者・監督・コーチ・マネージャー各1名、選手10名以内とする。

(2) 出場選手は、必ず引率責任者（当該校教員）によって引率され、引率責任者は、すべての行動に対して責任を負うものとする。

4. 使用自転車及び用具等

(1) 使用自転車は大会本部で用意したMTB（マウンテンバイク）に限る。

(2) ヘルメットと手袋（滑り止め付き軍手）は大会本部で貸与する。ヘルメットは必ず着用すること。

ヘルメット、手袋、プロテクター、サングラス等の装着品は各校や個人で用意したものを使用してもよい。

5. 組み合わせ抽選 個人戦及び団体戦は、提出された名簿をもとに本部にて、発走順番を決定する。

<大会特別規定>

1. 競技上の運営規定

(1) 選手は当日の指定時間迄に競技場に集合して受付を完了すること。不在の場合は失格とする。他競技との重複参加が理由で集合時間に合わない場合は大会本部と監督で協議して考慮する。あらかじめ決めた発走順は原則として変更しない。

(2) 選手は受付時に手渡すゼッケンを競技閉会式までの間、着用すること。

(3) 受付後、集合して競技開会式および注意事項の説明を行う。

(4) 競技開会式後、係員からMTBを支給し操作説明をする。参加選手は監督と共にMTBの点検をして、故障に注意すると共に、自分の体に合うように係員に調整してもらうこと。

(5) 選手は各自、スタート順に合わせてスタート地点近辺にてスタンバイし、順番を待つこと。

スタート地点に召集されたら係員の指示に従いスタートラインにタイヤを載せスタート合図を待つ。

(6) フライングの場合は、笛の合図で選手を止め、再走行を許可する。

(7) 競技中にチェーンが外れた場合は、再走行を許可する。

(8) 競技中に転倒して走行が不可能な場合は失格。ただし、転倒後起き上がり走行した場合は記録対象とする。1回目に転倒失格しても、2回目の参加は認めるが、ケガ等の場合の競技参加は大会本部の判断により、本人の意志に関係ないものとする。

(9) 危険防止とトラック保護の為に、急ブレーキは絶対にかけないこと。ゴールライン後は決められた走路に入り、徐々に減速すること。

(10) 発走の組み合わせや順番（スタート順）は大会本部にて作成する。選手の変更やスタート順の変更は原則として認めない。

(11) 監督の指導の下、事前に十分に準備運動をしておくこと。試走は競技コース外や指定区域内で行い、競技の妨げや事故のないように十分注意すること。

(12) 競技中に突発的に発生した事例については、競技担当者が各引率責任者を召集して、ルール等を再確認する。

(13) 2回走り終わった選手はMTB、ヘルメット、手袋をそれぞれ元の位置に返却し、競技閉会式の集合までは競技場内で待機する。

2. 審判等に関する事項

(1) 競技役員の分担はあらかじめ決め、競技運営の細則を配布する。

(2) 役員は競技開会式後に確認事項の打ち合わせを行い、所定の配置につく。

3. その他の注意事項

(1) 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の処置については責任を負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。

(2) 天候等による競技の変更や中止に関しては大会本部で判断する。

(3) 細部については参加エントリー受付後、出場校宛に文書で連絡をする。

●大会運営に関する取り決め事項（バドミントン）

<開催要項>

1. 競技規則

日本バドミントン協会競技規則によるが、一部大会特別規定を適用するものとする。

2. 競技方法

7/25(火) 9:00~

・個人戦：トーナメント方式による

(ア) 登録人数は**1校13名を上限**とする。

(イ) 名簿の提出は学年を問わず、実力順に記載すること。

7/26(水) 9:00~

・団体戦：トーナメント方式による

(ア) 複1組・単2名で行い、試合順序は複―単―単で実施する。単複の選手は兼ねられる。

(イ) 1校1チームの出場とする。

(ウ) シングルの試合は2コートで同時進行とする。

(エ) 登録は1チーム**2名以上5名以内**とする。

<大会特別規定>

- 21点のラリーポイント制を採用する。スコアが20点オールになった場合には、その後2点リードしたサイドがそのゲームでの勝者となる。また、29点オールになった場合には、30点目を得点したサイドがそのゲームでの勝者となる。最終セットはどちらかが11点を取得したときにコートチェンジを行う。
- 個人戦・団体戦ともに登録人数・出場チーム数により15点のラリーポイント制を採用する場合もある。15点のラリーポイント制の場合、14点オールになったときは15点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となる。最終セットはどちらかが8点を取得したときコートチェンジを行う。
- 使用シャトルは水鳥球No.2とする。
- 服装は半袖・短パンを原則とする。靴下は着用し、バドミントンシューズ(体育館履き)を履いていない者は棄権とする。また、下記を基準としたゼッケン(縦18×横25cm)を上着背面中央に四隅固定する。

横 25cm

名前	
県名	学校名

縦 18cm

- 試合前の練習は個人戦各2分・団体戦は各試合2分とする。
- 各ゲームの間に90秒を超えないインターバルが与えられる。アドバイスをする場合はエンドを変えた後コート上で行う。ただし、コート内に入れるのは2名までとする。なお、11点でのインターバルはこの大会では採用しない。
- 審判については原則として敗者審判制を採用し、全試合生徒で行うものとする。なお、初戦のみ本部から指定をする。(プレーヤーは原則として主審、線審もできるようにしておく)
- 団体戦の組み合わせは本部で行い、登録選手の変更は代表者会議までは認めるものとする。
- 個人戦の組み合わせは提出された名簿を基準に本部にて作成する。なお、申込期限後の棄権以外の変更は原則として認めない。(登録されていない選手の追加など)
- 審判の判定に対してのクレームや抗議は原則認めない。また、審判の判定に影響を与えるような行為も禁止とする。
- 引率責任者は当該学校長の認めたものとする。

●大会運営に関する取り決め事項（スポーツウエルネス吹矢）

<開催要項>

1. 競技規則

本大会は、日本スポーツウエルネス吹矢協会の大会規定に準拠し実施する。また、本大会は、「コロナウィルス対策」を含む特別規定を定める。

2. 競技方法

距離6メートル・1回に5本の矢を吹く（制限時間は3分）競技を3回、合計15本の得点の優劣で順位を決定する。また本大会に限り、練習は競技直前の5本とし、競技場への入室も最大3名（顧問含む）とする。※待機場所は、入口2階フロア。

（1）競技実施日

7月24日（月）開会式終了後の14時から16時、25日（火）の9時から16時、26日（水）の9時から11時の間で実施（富士北麓公園体育館 2階体育室）。

（2）競技種類 競技は、団体戦及び個人戦とする。

①団体戦 参加者は、同時に団体戦のチームとして、エントリーする資格がある。各学校得点上位者3名の合計得点の優劣で順位を決定する。

②個人戦 団体戦参加者は団体戦での個人成績による。

③人数 他競技との重複参加を認め、参加人数を9名までとする。

3. 用具等

社団法人日本スポーツウエルネス吹矢協会公認の道具とし、各校が用意する。また、服装については、他の競技のユニフォームまたは学校指定の体操着とする。

体験用マウスピースの使用は禁止していません。

4. 表彰

原則として下記の数とするが、参加数により大会本部が決定する。

（1）団体戦 上位2チームを表彰し、メダル等を授与する。

（2）個人戦 上位2名を表彰し、トロフィー等を授与する。

（3）同得点 低点法により順位を決定する。

（4）表彰式 表彰式は最終日7月26日（水）12時を予定。なお、表彰式に参加できない場合は、試合結果をメールにて各校の顧問に報告。優勝旗、トロフィー、メダル等についても大会本部より郵送。

<大会特別規定>

1. 競技上の運営規定

（1）道具は各校が用意する。

（2）棄権をする場合は、競技役員にその連絡をする。

2. その他の注意事項

（1）競技中の疾病・傷害などの応急措置は、主催者側で行うが、その後の処置についてはその責任を負わない。

（2）参加者は、必ず健康診断を受けて参加すること。試合当日、体温が37.5度以上の場合は出場できない。

（3）参加選手は、引率責任者（当該学校長の定めた教員とする）によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負うものとする。

※「新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けての取組」について、日本スポーツウエルネス吹矢協会より、安全性の確認と正しい対処法などについての報告が発信されています。下記のアドレスをご参照ください。

アドレス：<https://www.youtube.com/watch?v=VLFMQiKccR0>

（「日本スポーツウエルネス吹矢協会」で検索）

●大会運営に関する取り決め事項（駅伝競走）

<開催要項>

1. 競技規則

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則及び同駅伝競走基準により実施する。但し、本大会特別規定を別に定める。また、競技規則（特別規定を含む）に違反したチームは失格となる場合がある。

2. 競技方法

学校対抗の団体戦とする。

3. チームの構成及び出場制限

- (1) チームは男子・女子の部とも監督1名、選手7名までとする。選手の変更は代表者会議によって認められる。
- (2) 各区間のオーダーは、本大会受付時（12：00～12：50）に提出する。
- (3) 1校からの複数チーム（2チームまで）の出場を認める。また、複数校からなる合同チームの出場を認める。

<大会特別規定>

1. 競技上の運営規定

- (1) 選手ひとりの出場回数は1区間とする。
- (2) 選手はナンバーカードを胸背につけなくてはならない。ナンバーカードは主催側で用意する。
- (3) 選手の招集時間は全区間15：30とし、招集場所は大会本部付近とする。
- (4) タスキの色は男子を「赤」、女子を「黄」とする。主催者側で用意したものを使用する。ただし、受付時に承認を受けたタスキを使用してもよい。
- (5) タスキは走者の全距離を通して持ち運ばなければならない。
- (6) タスキは必ず肩からかけるものとする。
- (7) 中継点で新たにタスキを引き継ぐ選手は、中継線より進行方向に位置し、走路左側に寄っていなければならない。
- (8) 中継所のタスキの引き継ぎ区域は、リレーゾーンに準じ中継線より進行方向20m以内で行い、手から手へ確実に受け渡さなければならない。これを投げたり、または落として、次の走者に拾わせた場合は失格とする。
- (9) 伴走は認めない。伴走して応援をした場合は失格とする。
- (10) 選手について、競走前または競走中に薬品を服用することは認めない。
- (11) 途中棄権の場合は、最寄の役員または補助員に連絡する。
- (12) 選手は必ず学校長の許可を得て参加し、選手の安全に関して引率責任者が責任をもって管理する。
- (13) 選手は競走中、負傷等が生じた場合はすみやかに本部に申し出るものとする。
- (14) 選手の服装については、駅伝競走大会にふさわしいものを着用する。
- (15) その他詳細は、代表者会議で決定する。

<表彰>

- (1) 表彰の対象は、学校対抗（団体戦）は、男女とも1・2位とする。個人賞は区間最高記録賞とし、男女とも1～5区までとする。
- (2) 競走全チームを対象とする。なお、複数出場校においては、最先着チームのみを表彰の対象とする。